

5月16日 (火)

正しい恐れ

聖書朗読 IIテモテ 1:3~7

からだを殺しても、たましいを殺せない人たちなどを恐れてはなりません。そんなものより、たましいもからだも、ともにゲヘナで滅ぼすことのできる方を恐れなさい。

マタイ 10:28

聖書には、神を恐れなさい、そして恐れてはならないと書いてあります。これをどう理解したらよいのでしょうか？ 正しい恐れとは、神に対する畏怖と畏敬の念です。それは、エジプトの災いを見ていたイスラエル人が感じた恐れです。逆に悪い恐れとは、『小羊の怒りとから』(黙示録 6:16) 守られることを求めた人々のように、神を怖がることです。信じる者は、神に対して畏怖と畏敬の念を持つべきなのです。

クリスチャンとして、私はイエス様の再来を怖がるのではなく、喜んで受け入れます。『今からは、義の栄冠が私のために用意されているだけです。かの日には、正しい審判者である主が、それを私に授けてくださるのです。』(IIテモテ 4:8)。私たちは、死の恐怖から引き出されました。イエス様は『子たちはみな血と肉を持っているので、主もまた同じように、これらのものをお持ちになりました。これは、その死によって、悪魔という、死の力を持つ者を滅ぼし、一生涯死の恐怖につながれて奴隷となっていた人々を解放してくださるためでした。』(ヘブル 2:14~15)。主への慎みと恐れをもって、私は主の再来を待ち望みます。

讃美歌 529

祈り 親愛なる主。私の心から恐れのお気持ちを切り除き、そこを力と愛と自制心で満たしてください。

イエス様の御名によって。アーメン

ボブ・マイズ

テキサス州 ラボック

5月17日 (水)

私はちゃんとやっているのでしょうか？

聖書朗読 ヘブル 11:1~40

信仰は望んでいる事がらを保証し、目に見えないものを確信させるものです。

ヘブル 11:1

あなたは、鏡を見て「私はちゃんとやっているのか？」と思ったことはないですか？ 私はあります。私は、ヘブル人への手紙にでてくる信仰深い人々の中で信仰がどのように働いたかを読むと、「ああ、私は彼らのような信仰を持つことができるのだろうか？」と思います。

ヘブル人への手紙では、信仰なしに神を喜ばせることはできないと書かれています。では、どのようしたら、私は信仰を築いていけるのでしょうか？ 次の3つの方法が私を助けてくれると思っています。一つ目は、神に信仰を与えてくれるよう求めることです。ルカは、イエス様の弟子たちはまさにこれを行ったと言っています。『私たちの信仰を増してください。』(ルカ 17:5)。マタイは『求めなさい。そうすれば与えられます。』(マタイ 7:7)と言います。ヤコブは『だれにでも惜しげなく、とがめることなくお与えになる神に願いなさい。』(ヤコブ 1:5)と言います。そして二つ目は、学んで、聞くことです。ローマ人への手紙では『信仰は聞くことから始まり、聞くことは、キリストについてのみことばによるのです。』(ローマ 10:17)と言っています。ですから、もしさらなる信仰を求めるのなら、みことばを徹底的に知るべきなのです。そして、最後の三つ目は、パウロが言った『あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。』(ピリピ 4:6)です。この言葉でわかります。つまり、神に祈ることによって、信仰は築くことができるのです。

讃美歌 270

祈り ご在天のお父様。古人が持っていた信仰を私も持つことができるようお助けください。信仰を増すことができるよう、求め、学び、祈ることができるようお助けください。

イエス様の御名によって。アーメン。

キャサリン・クナーフ

オレゴン州 セイラム

5月18日 (木)

ソウル (魂) レスではなくてホームレス

聖書朗読 ヤコブ 2:1~9

神にはえこひいきなどはないからです。

ローマ 2:11

「お金持ち」や「富裕層」に好意を抱く人は少なくないでしょう。それとは逆に「貧乏」や「ホームレス」や「恵まれない人」には、そうでない人と同じように接しない人もいます。

振る舞いや、見た目が違う人から恐怖や、不快な気持ちを感じたら、私たちは祈り、そしてローマ人への手紙の今日の聖句を口に出し、正しい行いをしなければなりません。

日ごろから人に相手にされないことに慣れている人々にとって、笑顔や、歓迎や、「元気?」「お名前は」の言葉がどれだけ衝撃のあるものか考えてみてください。

私たちの教会では、主を礼拝にしに教会に来た人々をもてなすとき、私たちはイエス様のように彼らを迎え入れます。私たちは、彼らをもっと神を知りたいと思ってもらうように努めます。神は求めておられる方すべてを歓迎されておられます。ですから私たちもです!

この道は一度しか通らない。

人のためになることを見つけたら、今、それを行おう。

先に延ばさないように。

できない理由は考えないようにしよう。

この道を通ることは、二度とないのだから。

———— エチエンヌ・グルレ

讃美歌 461

祈り 主よ。外見で人を判断することがありませんよう、私をお助けください。
イエス様の御名によって。アーメン。

ユーージニア・カイザー

ヴァージニア州 アーリントン

5月19日 (金)

天使の目

聖書朗読 Iペテロ 1:1~12

私たちの主イエスキリストの父なる神がほめたたえられますように。神は、ご自分の大きなあわれみのゆえに、・・・私たちを新しく生まれさせて、生ける望みを持つようにしてくださいました。
Iペテロ 1:3

パーティハットを頭に被って、ケーキのロウソクに火をともし、私たちは誕生日を祝います。神様の御心の中で考え出され、形作られ、本当に素晴らしいものとして私たちが創られた日であることを思い出す日でもあります。誕生日では、プレゼントをもらい、カードで励まされ、バースデーソングで少し恥ずかし思いをします。そして、素敵な一日をと声をかけてもらえます。

今日の聖句、ペテロの手紙第一では、もう一つの誕生日である、第二誕生日について書かれています。神の大きなあわれみと、イエス様の復活によって、私たちは『新しく生まれ』(3節) なのです。そして、第一の誕生日と同じく、この誕生も『ことばに尽くすことのできない、・・・喜びおどって』(8節)、喜びに満ちた祝いの日となります。この第二の誕生の喜びは、第一の誕生日のものより、もっともっと深い喜びとなります。それは、神の救いという、希望から生まれた喜びだからです。それは、どんな恐ろしい試みによってさえも押しつぶされることのない喜びです。神は私たちの中で、私とともに、私たちのために、天使の注目さえも集めてしまうほど働いてくださいました(今も働いてくださっています)(12節)。そして、御国は喜びに沸いています。

讃美歌 516

祈り 主よ。私を救ってください、そしてそれを祝ってくださいありがとうございます。

イエス様の御名によって。アーメン。

ディビッド ポンズ

テキサス州 アマリロ

5月20日（土）

親 と 子

聖書朗読 Iヨハネ 3:1

キリストによって、いま私たちの立っているこの恵みに信仰によって導きいれられた私たちは、神の栄光を望んで大いに喜んでいます。 ローマ 5:2

信仰には段階があるという人がいます。まず始めに、全てを受け入れ、全てを期待する親がかりの子ども期。そして自分が神になることを望む反抗期真っ盛りの青年期。そして最後に、背負った責任の重さを知る親期です。

もし、あなたが信仰の成長期にあつて、これらの段階を感じる事ができるのなら、こんなにはっきりと成長の段階がわかっていないことを知るでしょう。全ての段階で、「手放して」、目に見えない神に向けて手を差し伸べることを求められます。手放し、神と隣人を愛し続けることは、もっとも大切なことであり、自身を捧げ続けることができる人はあまりいません。

年若い使徒ヨハネは、愛が信仰の全ての段階で湧き上がる問の答えであると書いています。神の愛が、信仰の成長段階でよちよち歩きの状態の私たちを支えてくださっています。反抗期真っただ中の青年期に入ったときには、神の愛は断固たる態度で私たちに挑み、そして、私たちが成長している中、神の愛は私たちを信じてくださっています。

今、私たちがどの段階にあろうとも、神の愛は全ての答えです。もし、私たちが神の愛に夢中になり、信仰について読み、考え、そして祈ることができるのなら、そのとき、闇の中で信仰を持ち続けることになるのです。何があろうとも、神はあなたを愛しておられ、神の愛はあなたを、私を変えてくれます。そして、私たちは愛し続けることができるのです。

讃美歌 第二編 184

祈り お父様。今の私を変わらぬ愛で支えてくださりありがとうございます。
イエス様の御名によって。アーメン。

編集者 スティーブン・レムリー

5月21日（日）

も う 一 度

聖書朗読 ルカ 5:1~11

イエスはシモンにこう言われた。「こわがらなくてもよい。これから後、あなたは人間をとるようになるのです。」 ルカ 5:10

「ハイ！提案があります！」。私の若い友人は、次に行われる子どもたちのサマープログラムの準備のための集りで、行き詰った状況の中、果敢に手をあげました。彼女が話し終わるや否や、年配の女性が友人の案を即座に却下しました。「あなたの案はもうすでにやったことがあります。しかも、あまりよくなかったのです」。果敢にも手を挙げた友人はすっかりしぼんでしまい、その後はずーと黙ってしまいました。

ルカの福音書5章で、ペテロは『私たちは、夜通し働きました』と漁師としての意見を口にしました。しかし、ペテロが次に言ったことが、その後の人生を変えました。ペテロはすぐさま言いました。『でもおことばどおり、網をおろしてみましよう。』

仕事も、人間関係も投げ出したいと思うことはありませんか？「恐れることはない。深みに漕ぎ出しなさい」。もう一度、神の導きを信じましょう。どれだけ私を落ち込ませるような言葉に囲まれようとも、神だけが見て知っておられる方です。そして、魚を捕るために網をおろすために私たちをお呼びになったのは神です。今のあなたが仕事で何をしよう、恐れずに仕事を行いましよう。神の声に従って行いましよう。神の奉仕を行うためにあなたをお呼びになったイエス・キリストのために行いましよう。

*冒険に満ちた人生とは、恐怖の全くない人生ではなく、
むしろ、あらゆる恐怖を知ったうえで歩むものであり、
恐怖が先にあるのを知りながら、先に進むことである。*

——ポール・トゥルニエ

讃美歌 294

祈り お父様。私たちに与えてくださったすべての意味のある仕事に感謝いたします。あなた様に耳を傾け、恐れることのないようお助けください。

イエス様の御名によって。アーメン。

編集者 エミリー・レムリー